

進路だより

令和3年度 第5号
下関南総合支援学校 進路部
令和3年7月20日

児童・生徒のみなさん、もうすぐワクワクの夏休みですが、熱中症予防など健康に十分気を付けましょう。今回の進路だよりでは理療科の進路について、みなさんへご紹介したいと思います。理療科では人々の健康の維持・増進を支援するための医療技術職「あん摩マッサージ指圧師」「はり師」「きゅう師」の国家資格の取得を目指しています。

1. 国家試験について

第29回の国家試験より出題数と受験時間に変更になりましたが、受験した生徒に戸惑う様子は見られず、本校の合格率は100%でした。

問題数の増加により、国家試験の難易度が上昇し合格率が低下するのではないかと危惧しておりましたが、結果から受験生にとって大きな影響はなかったと考えています。しかし、年々、出題される内容が専門的になってきており、これからも理療科生徒に対し、しっかりとした指導のもと、国家試験合格に向け充実した指導・支援が必要であると考えています。

理療科では模擬試験を年に6回実施しており、2年生は3月に1回、3年生は年5回行っています。問題数や受験時間、受験会場等、国家試験に近い形で実施しています。このように、本番を想定して数多く模擬試験を行うことが、高い合格率につながっていると考えられます。

3月末の合格発表に向け、国家試験後から、免許の登録申請方法の指導やハローワークへの求職登録など、就職に向けた具体的な活動をしていきます。

国家試験の合格率

試験種別	全体の合格率	視覚障害者の合格率
あん摩マッサージ指圧師試験	84.1% (84.7%)	70.6% (67.5%)
はり師試験	70.0% (73.6%)	60.5% (57.9%)
きゅう師試験	72.2% (74.3%)	62.0% (58.4%)

(東洋療法研修試験財団調査より)

※()内は昨年の合格率

2. 専攻科卒業後の進路について

卒業後の進路は、就職、開業、進学などがあります。今回は就職について紹介します。

就職先として多いのは、訪問マッサージです。訪問マッサージは、自宅で療養されている患者さんを訪問し、20分程度の施術を行います。訪問先への移動などサポート体制もあります。また、デイサービスを行っている高齢者施設への就職などもあります。都市部では、企業の福利厚生の一つとして従業員の健康管理、疲労回復、疾病予防のための施術、健康指導などを行うヘルスキーパーへの就職もあります。

理療に関わる業種は、訪問マッサージやヘルスキーパーに関わらず、他の業種に比べ視覚障害者が働きやすい環境が整っています。また、就職先によっては独自で知識や技術の向上に向けた研修会などを開催しているところもあります。

3. 進路研修会について

今年も視覚に障害のある児童・生徒の保護者と職員を対象とした研修会を8月4日に行う予定です。あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師という職業について、理療科を目指す児童・生徒が身に付けてほしいこと、視覚障害者が日常生活を送る上で必要な事などについて情報発信をしたいと考えています。今年度も本校理療科の小溝教諭が講師を勤め話をしますので、リラックスして聞ける内容となっております。